広報
さめがわ

昭和57年
8月号
No. 344
編集兼発行
鮫川村役場
塙町佐藤印刷所

ふるさとの文化をたずねて健やかな心を…



鮫川村公民館では県の指定をうけ、青少年地域活動事業の一環として、小学校4、5、6年生を対象に文化財教室を開きました。

また、高校生を対象とした高校生の集いを、山村開発センターを会場に、1泊2日の日程で開きました。

どちらも多数の青少年が参加し、夏休み期間中のたのしい集団生活と学習で、青少年からも父兄からも好評でした。

テーマはふるさとの自然と文化遺産をたずね、村を築いてきた先人の心と足跡にふれ、若い健やかな心を育てようとするものでした。

高校生の集い第1日には石田村長が「美わしいふるさとの山川」について講義し、わが村の自然の美しさと、ここに住む村人の心の美しさを強調しました。

- ⊙ 8月1日～31日　シートベルト着用推進運動
- ⊙ 8月1日～31日　道路をまもる月間
- ⊙ 9月1日　防災の日

今月の人口
（8月1日現在）

		前月比
人口	5,577	(+10)
男	2,765	(+3)
女	2,812	(+7)
世帯	1,127	(+1)

消防職員勤続30年
栄光の勲六等単光旭日章



赤坂西野出身　金田傳氏



今年春の叙勲で赤坂西野字上出身の金田傳さんが、消防功労者として栄光の勲六等単光旭日章を授与されました。

金田さんは、高坂久男さんの叔父さんで、久男さんの父哲郎さんの末弟に当る方で、西野小学校の卒業生。戦時中兵役を志願して軍曹となり、終戦後東京都日本堤消防署に消防司令として勤務されました。

誠実熱心に首都の消防業務に精励され、勤続30年に及びましたが、昭和56年春退職されるに当り、多年にわたる功績が認められこの度の叙勲となったものです。

5月14日には皇居内新宮殿豊明殿において、天皇陛下の拝謁を受けられる光栄に浴しました。

金田さんはこの感激を記念して甥の久男さんを通して、金5万円を村の社会福祉事業に寄付されました。

教育のひろば (40)

青少年を健やかに

村長　石田卯子八

毎年開かれている村の少年少女球技大会ですが、今年は七月二二日、よい天気に恵まれにぎやかに村民運動場を埋めて行なわれました。高校分校舎の建築工事が着工され、運動場の一部が仕切られたので狭くなりましたが、それでも四面のコートが設けられて、競技はスムーズに進められました。

六小学校一二チームが参加して技と力を競ったので、多数の父兄も参観して声援をおくり、若い後継者たちのみなぎる活力を一望のもとに見せてくれました。

参加した少年少女たちも大変楽しげで、この時期に全力を出し切って技に打ちこむこと、チームの連けい協力を身につけること、ルールを守る慣習や、新しい友情を培うことなど、興味深い行事の中で養われていくことは有意義なことであります。

近年わが国の青少年非行化の傾向は増大する一方で、それが次第に低年令化し、悪質化していくといわれております。

前年度は発生件数が戦後最大を記録したという報告もあります。

その原因が家庭の無関心、社会生活の低俗化、道義のたい廃、戦後教育の積弊など、いろいろな角度から論議されていますが、要は家庭も社会も学校も総ぐるみで青少年をあたたかく見守り、励まし、育てていく努力をしなければならないということであります。

青少年は、心身ともに旺盛な発達途上の生命体であります。明るくあたたかな環境を与えつつ、その伸びゆく活力を巾広い学習活動や、スポーツや健康的な育成訓練の場に導くことが大切であります。

公民館の企画する文化財教室や高校生の集いなどにも、多数の小中、高校生の皆さんが参加することを望んでおります。

また学校、PTAその他の計画で夏のスポーツである登山、水泳、球技など、自由で楽しい催しに、多くの青少年が興味と関心をもって参加することを期待するものであります。

そしてその周辺には、いつも地域社会の人達のあたたかな視線があることが望まれるのであります。

おめでた

六月

青生野	平久江優季	父平久江和男	
巌平	鈴木亜由美	父鈴木啓寿	
檜久保	森　順子	父森　孝男	

七月

中沢	円谷　初枝	父円谷建一	
大石草	芳賀　浩二	父芳賀義美	
追木	水野　博文	父水野一美	
落合	我妻　美幸	父我妻邦夫	
二本田	酒井　賢寿	父酒井國安	
酒垂	白坂　友美	父白坂久幸	
木戸沢	鈴木　寿治	父鈴木正孝	

おくやみ

七月	年齢	世帯主		
酒垂	鈴木六之進	84歳	鈴木昭二	
酒垂	石井　市作	75歳	石井ハツヨ	
鍬木田	緑川志免二	76歳	緑川義春	
巌平	藤元　ヤス	62歳	藤元　美	

今月の納税

村県民税（第二期分）
国民健康保険税（第三期分）
納期限　八月二五日

心配ごと相談

八月二〇日（金）
午前一〇時～午後二時
山村開発センター

キビキビした消防ポンプの操法

ポンプ自動車は第四分団
小型ポンプは第一分団が優勝



村主催の消防操法競技会は七月四日、午前九時から村民運動場で開かれました。

この競技会にはポンプ車の部三チーム、小型ポンプの部七チームが参加し、各分団の選手六〇余名と幹部役員が参加し盛会でした。

統監の石田村長、審査長の関根団長、来賓の芳賀議会議長のあいさつの後、審査班長の棚倉消防署鮫川分署長から競技上の注意があり競技に入りました。特に今年は操法要領の改正があったので六月一三日に団の主催で規律や操法の指導会を開いて技術の向上を図ってきたため、動作も的確でキビキビしており、各分団とも見事な操法を展開しました。

操法や動作の正確さ、それに規律、スピードを競った結果は次のような成績となりました。

〈ポンプ車の部〉
優勝　第四分団　芳賀元治、国井俊二、国井清敏、赤坂孝男、山形仁、芳賀敏彦、
第二位　第五分団

〈小型ポンプの部〉
優勝　第一分団　芳賀貞夫、円井七蔵、生田目吉康、円谷実、円井彦徳
第二位　第七分団

なお、両種目の優勝チームは八月五日、塙町、塙小学校校庭で行なわれた福島県消防操法競技東白川支部大会に村代表として出場しました。

新農業構造改善事業
トレーニングセンターなど
建設事業快調に進む

昭和五五年度から始めた新農業構造改善事業は、今年で三年目を迎えました。

本年度は構造改善推進事業、圃場整備事業（塚本、岩野草）、農業者トレーニングセンター建設、赤坂西野区運動広場造成の各事業が実施されますが、この中で次の二つの事業の入札が行われました。入札結果は次のとおりです。

◎圃場整備（塚本工区）
落札額　二九、一〇〇千円
落札者　棚倉町　藤田建設工業㈱
工事量　区画整理二・四ha、暗渠排水四・四ha
工　期　昭和五七年八月三日～昭和五八年三月一八日

◎農業者トレーニングセンター附帯（舗装）工事
落札額　一二、〇〇〇千円
落札者　石川町、水谷工業㈱
工事量　構内、駐車場舗装三、八二七㎡
工　期　昭和五七年八月五日～昭和五七年九月七日

※農業者トレーニングセンター本体工事（主要建物）は七月で概ね完了し、物置工事と敷地のほ装工事を残すのみとなり、只今最後の仕上げを急いでおります。

公共事業入札情報

57.7.26入札

工事名	落札額	落札者
村道田尻・関口線改良工事	千円 4,800	塙町 深谷建設
村道菅ノ目・浅川線舗装工事	3,800	石川町 志賀建設
村道菅ノ目・浅川線道路横断溝伏設工事	480	〃
村道名下・滝線改良工事	4,700	鮫川村 湯座建設
道路災害復旧工事（田尻・関口地区）	11,400	鮫川村 森重機
（大石〃草地区）	2,800	鮫川村 東白リース
（中沢〃地区）	2,690	鮫川村 湯座建設
（彦次郎〃地区）	1,850	鮫川村 富国建設
（前塩〃倉地区）	1,350	鮫川村 森重機

第四分団がポンプ自動車の部で優勝
―消防操法東白川支部大会―

県消防操法競技東白川支部大会は、八月五日塙町で開催され、本村から出場した第四分団が、ポンプ自動車の部において見事優勝しました。

この大会には、東白川四町村の各消防団から、ポンプ自動車の部、小型ポンプの部にそれぞれ一チームづつ参加し、県大会出場をかけて競われました。

本村からは、ポンプ自動車の部に第四分団、小型ポンプの部に第一分団が出場し、第四分団は優勝、第一分団は惜しくも第二位でした。

優勝した第四分団は、八月二五日、郡山市で開かれる県大会に支部代表として出場します。



支部大会で優勝した第四分団

夏休みの楽しい思い出に

西山スポ少で宿泊研修

——青少年の家——

西山スポーツ少年団（団長市川正尚さん）では、夏休みに入った七月二六日、二七日に、戸草にある青少年の家で宿泊研修を行ないました。

この研修は、「夏の探偵団」と名づけて児童の健全育成をねらいとしたものです。二、三年生の役員と四年生以上の児童三三名、先生三名、父兄七名が参加しました。

児童たちは家を離れての団体生活に大はしゃぎで、なれない手つきで食事を作ったり、キャンプファイヤー、宝さがし、ゲームなどをして遊び、夏休み中の楽しい思い出になりました。



ハンゴウを使ってご飯をたく児童たち

清掃奉仕作業ありがとう

役場 公用車運転者会

役場に勤務する運転手で組織している公用車運転者会の皆さんは、今年も村内の主要な国、県、村道を重点に、通行に支障をきたす雑草木の刈払いや、カーブミラーの清掃、空カン拾い等の作業を、七月二四日奉仕作業で実施しました。毎年続けられている熱心な作業、ごくろうさまでした。



奉仕作業に精出す婦人会員の皆さん

村の婦人会員 さぎり荘で奉仕作業

村の婦人会は毎年ボランティア活動で関係者からよろこばれていますが、今年は七月二七日に老人保養センターさぎり荘で、障子の張りかえや座ぶとんカバーの洗濯などを奉仕しました。

施設の中がすっかり明るくキレイになって感謝されました。

ふるさとの清流を取り戻そう！





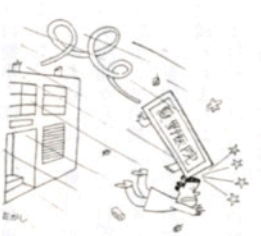
鮫川村では毎年実施している全村の河川清掃日を、今年は県下一斉に行なわれたクリーンアップ作戦に合せて7月4日に行ないました。この日は全戸洩れなく出動して、河川の雑草刈払い、ゴミの収集、障害物の撤去、空カン拾いなどを行ない、ふるさとの美しい清流をとり戻した感じになりました。

皆さん！川にゴミをすてることは絶対に止めましょう。

○防災の日　9月1日

○防災週間　8月30日～9月5日

台風、豪雨、洪水、地震等についての認識を深くし、災害の未然防止と被害の軽減に努めましょう。



めぐり 各課

建設課
道路管理センター
—その4—



今月は建設課と道路管理センターです。建設課は、村内の道路、河川、橋りょうの新設、改良及び災害復旧、建築並びに簡易水道に関する業務を担当し、道路管理センターは、村道等の維持管理に関する業務を担当しています。

建設課の組織は、計画係、工務係、水道係の三つの係から構成され、職員は課長以下八名配置されています。道路管理センターは所長以下二名です。

建設課

課長　前田　守保（道少田）
◇建設課の事務を掌理し、所属職員の指揮監督をする。

課長補佐　金沢　省道（新　宿）
◇道路愛護に関すること。
◇公共用地等に関すること。
◇水道に関すること。

係長　青戸　学男（彦次郎）
◇指名競争入札参加資格審査に関すること。
◇道路、河川、橋りょう、災害復旧等の事務に関すること。

嘱託員　本郷　栄治（沼野沢）
◇公用地及び公共用地等の取得補償及び所有権に係る登記に関すること。

主任技師　根本　一美（岩野草）
◇道路、河川、橋りょう、災害復旧、土木建築等の技術及び工事の施行管理に関すること。

主任技師　高坂　仁一（西　）
◇道路、河川、橋りょう、災害復旧、土木建築等の技術及び工事の施行管理に関すること。

技師　近藤　保弘（新　宿）
◇道路、河川、橋りょう、災害復旧、土木建築等の技術及び工事の施行管理に関すること。

主事　鈴木真理子（大　塩）
◇道路台帳の整備保存に関すること。

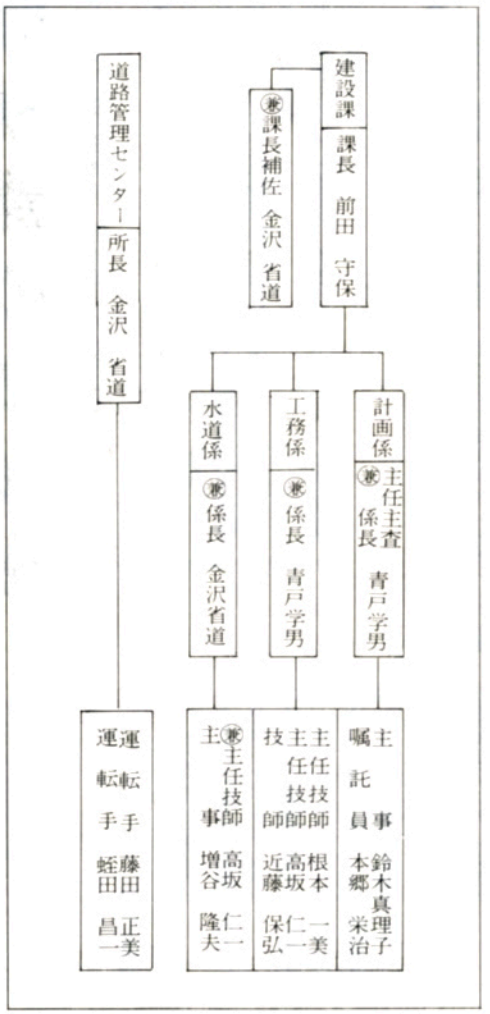
主事　増谷　隆夫（荻ノ沢）
◇水道の事業計画、水道施設工事の施工・維持管理、水道加入及び料金の賦課徴収に関すること。

道路管理センター

所長　金沢　省道（新　宿）
◇道路管理センターの業務を掌理し、職員の指揮監督をする。

運転手　蛭田　昌一（田　尻）
◇村道及び村が管理する農林道の維持管理等に関すること。

運転手　藤田　正美（道少田）
◇村道及び村が管理する農林道の維持管理等に関すること。



季節の話題

豆腐を夏の食卓に

植物たんぱくの王者、豆腐。栄養価が高く、口当たりがよく、しかも消化がよく、食欲の衰えがちな夏にはもってこいの食品です。

夏の豆腐料理というとまっ先に頭に浮かぶのは冷やっこですが、毎度同じ薬味、たれではあきてしまいますから、時には目先をかえてみましょう。

みそ、だし、砂糖、みりんをあわせて火にかけて練り、みそより少し柔らかくなるまで水気をとばして練りみそをつくります。練りみそは日もちしますから、少し多めにつくっておき、これをだしでのばしてサラダ油を少したしてコクを出したり、ひき肉をまぜたりして豆腐にかけます。薬味には刻んだ青ジソがよく合います。

市販のごまバター、ピーナッバター、アーモンドバターに、それぞれしょうゆ、みりんを混ぜ、豆腐をつけて食べるのも、独特の味と香りが楽しめ、なかなか乙なものです。

豆腐はさっぱりしすぎて、という若い人には、重しをして水出した木綿豆腐に、小麦粉をまぶしたチーズをはさみ込み、フライ衣をつけて揚げると喜ばれます。熱いうちに、ケチャップかウスターソースをつけて召し上がって下さい。

ムダな医療費の節約を

国民健康保険とわたしたちの健康生活は、今や切っても切れない大切なものになっています。

ところが、ここ数年医療費の増加は著しく、これに老人医療費の無料化や医療費の値上がりもあって、さらに国保財政を苦しいものにしています。

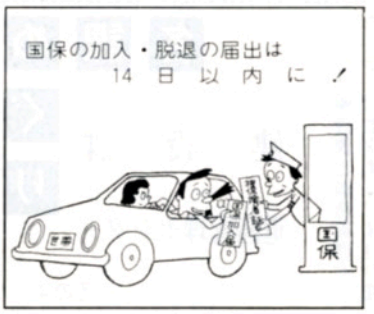
このままうなぎのぼりに医療費が増え続けると、せっかく相互扶助を目的とした制度が崩壊しかねません。また医療費の増加にともなって、保険税を値上げしなければならなくなります。

必要なとき、本当に必要な医療が十分受けられるためにも、ムダな医療費は使わないようにしましょう。

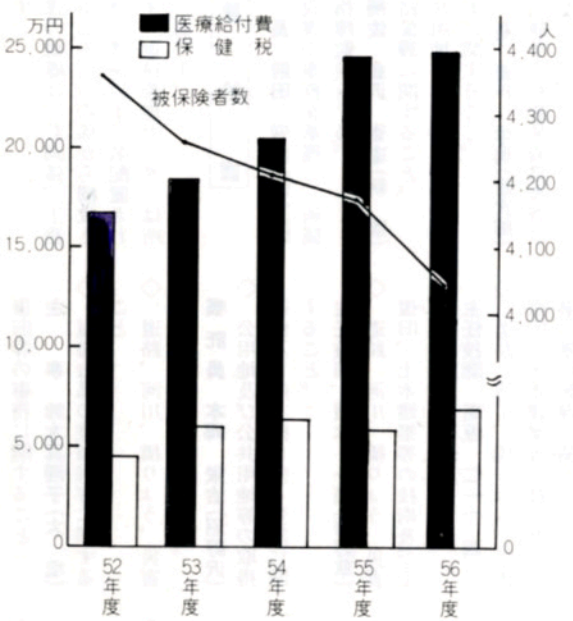
◆増えつづける医療費

毎年、被保険者数は減っても医療費は医学などの進歩や新しい医療機械の普及によって年々増えつづけています。

保険税は医療費に比例して増えることになります。（ただし昭和五五年度は冷害のため約一千万円の減免措置を講じました。）〔図1参照〕



5年間の国保医療給付費〔図1〕

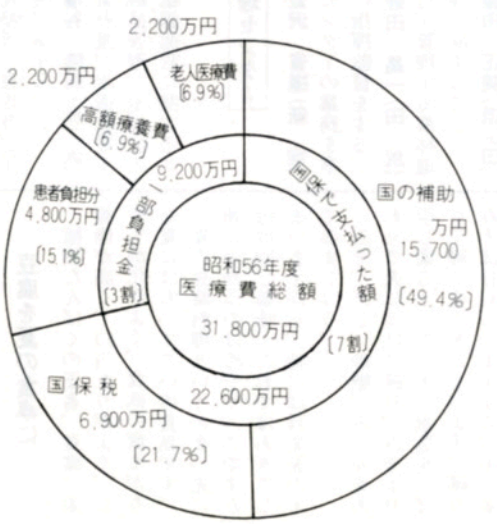


◆昨年度の医療費状況

昭和五六年度（四月～三月診療分）の国保加入者の医療費総額は三億一千八百万円で、国保が負担する保険者負担分（七割）が二億二千六百万円になりました。また、入院などによる高額療養費の支給額は二千二百万円となっております。〔図2参照〕

医療費の負担区分〔図2〕

（療養費は除く）



◆医療費の節約を

あなたは医者や病院を転々とわたり歩いていませんか。

そのたび検査や薬などが重複して、かえってよくないことがあります。また急病のとき以外は夜間、休日などの診療や往診はさけるようにして下さい。

正しい受診を心がけ、医療費のむだをなくしましょう。



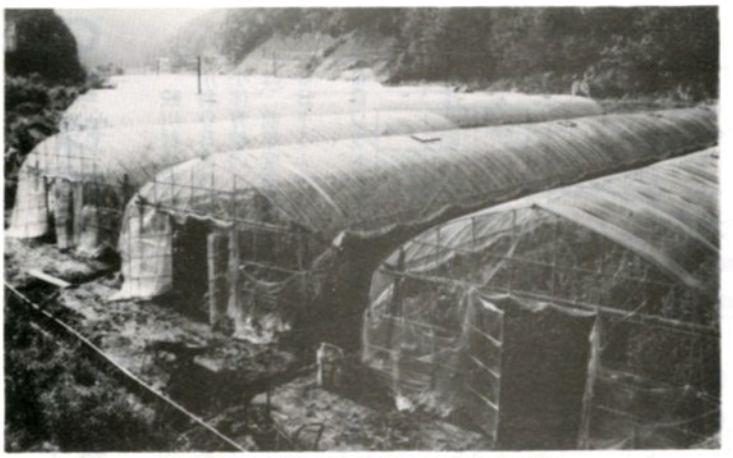
◆医療費のお知らせを実施

国保の加入者が、お医者さんや病院にかかった医療費の五月診療分を世帯ごとにお知らせいたしますから、もしまちがっていたり疑問点などがあれば、役場の保健係にご連絡下さい。

新しい転作農業・ハウストマト

――大犬平野菜生産組合――

青生野　星弘さん



23棟が並ぶ羽双地区のトマトハウス群

青生野地内の国道二八九号線から、村道羽双線を約二キロ入ると、この地区の整備された水田にビニールハウスが見事にズラリと並んでいる。

これが大犬平野菜生産組合（組合長・長久保一進さん。組合員九名）羽双地区の星弘さん、棚井忠さん、棚井朝巳さんの三人が栽培しているトマトハウスである。七三アール（約七反三畝）の転作水田地に二三棟のハウスが並んでいる風景は壮観である。ハウスの実面積は四二アール。三人で、このように一団地で転作トマトを集団栽培しているのは県内でも珍しく、各地から視察に訪れる人が多い。

この地区での農業の経営形態は、水稲に畜産、野菜を加えた複合経営である。星さんは昨年まではインゲンを一四アール栽培していた。

「五四年には、インゲンで鮫川一になったこともあるんですが、その後は思うように収益が上らず悩んでいました。そんなとき、農協からトマトをやってみないかと声をかけられて、皆んなと相談して始まったんですがね」とトマト栽培を始めたきっかけを話してくれた。

トマトを栽培して行くうえで最も注意しなければならないのは病害である。病害が入ると、一晩のうちに全滅する恐れもある。少しでも注意を怠ることができない。「トマト栽培はむずかしいですよ」と言う。

トマトの成育は今のところ順調で、すでに一段目のトマトは収穫が終り、二段目の収穫に入る準備をしていた。一段での収穫量は四五〇箱。一二段まで収穫すると言うから大変な収穫量になる。収穫されたトマトは選別し、箱詰めにして農協に出荷される。品質もよいので、市場ではなかなかの評判である。

星さんは「青生野地区でのトマト栽培は初めての試みなので、是非成功させたい」と意欲的。

水稲依存型の従来の農業から脱皮し、新しい農業経営に取り組む大犬平野菜生産組合の皆さんの成功を祈ります。



生育も順調で、多収穫が見込めそう



トマトの手入れに余念がない星弘さん



シートベルト着用推進運動実施中

8月1日～31日

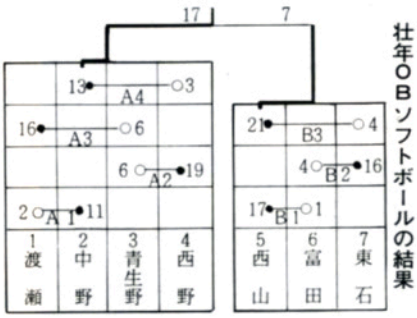
万一の事故に備えて
必ずシートベルトを着用しよう！

ＯＢ球技大会

優勝 中野ＯＢ（ソフト）渡瀬ＯＢ（バレー）

鮫川村体育協会（会長根本伝）主催の昭和五七年度鮫川村ＯＢ球技大会は、去る七月一一日村民グランド、鮫小体育館の二会場で開かれ、熱戦の結果、ソフトボールは、前年度優勝の中野ＯＢ、家庭バレーボールは、渡瀬ＯＢチームが優勝の栄冠に輝きました。

壮年ＯＢソフトボールの結果



ＯＢ家庭バレーボールの結果



壮年ソフトボール
優勝 西野チーム
準優勝 中野チーム
三位 西山チーム

三位 東舘Ｃチーム 矢祭町

家庭バレーボールの部
優勝 さつきチーム 塙町
準優勝 六区チーム 塙町
三位 中野チーム 鮫川村
三位 舘本チーム 矢祭町

東白川親善球技大会

東白川町村体育指導委員連絡協議会主催（会長生方利夫）の第六回東白川親善球技大会は、七月一八日鮫川村会場で二一チームが参加して盛大に開催されました。

結果は次のとおりでした。

壮年ソフトボールの部
優勝 石井Ａチーム 矢祭町
準優勝 高城チーム 塙町
三位 寺山球愛会 棚倉町

◎村予選会の成績

村で実施された予選会の結果は次のとおりでした。

六月二七日
家庭バレーボール
優勝 西山チーム
準優勝 渡瀬チーム
三位 中野チーム
三位 東石チーム

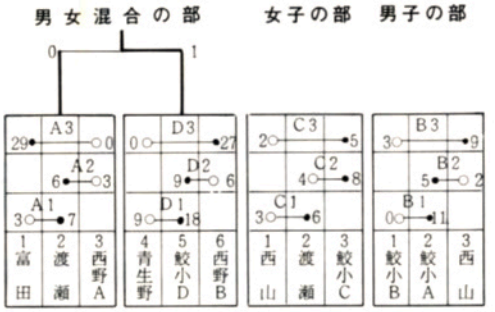
七月三日

少年少女 球技大会

小学生ソフトボール

去る七月二二日、午前九時から村民グランドを会場に、村教育委員会主催の昭和五七年度少年少女球技大会が行なわれ、前年度優勝の鮫小Ａチーム外、一一チーム（男子の部三チーム女子の部三チーム、男女混合の部六チーム）が参加し、熱戦が展開されました。

結果は次の通りです。



ふるさとの民話と伝説 —37—

西山 鍛治平の起因

昔、江戸時代の末期、今より百七〇年前の文化年号の時代頃かと思う。西野村の岫長部落の住人で技術のよい刀鍛治がいたという。仕事は上手だが一刀仕上げると一〇日も二〇日も仕事はやらない。仕事嫌いな鍛治屋さんで経済はだんだんと苦しくなってくる。苦しくなると又仕事にとりかかるといったやりかたであったという。

そんなことで年々生活が苦しくなり、長く住んでおった岫長の地を離れる考えを起し、宝木村辺りを、くまなく探しまわって歩き、人里離れた畝地の広い窪地を見つけたという。そこで岫長の部落を離れることを決心して、坪まわりをして、心よく岫長の地を立ったという。

その時に、坪に利口な人がおり「何処に行っても怠けて居ては飯は食えないぞ。一生懸命にやりなさい」と言われて去ったという。その怠け鍛治屋も坪を去る時言われた名言を肝に銘じて、今度は技術のよい鍛治職をやめ、百性に職を替え、毎日根気よく畝を切り払い一生懸命働き、年々田畑の耕地が増え、一つの大きい沢が田になり、山は畑となり土地の増えるのが面白くなり、追目になって大いに働いたという。又その子供らも父親の仕込みで働く根性が強く、沢山の田畑山林を拵えたという。その岫長より移住した鍛治屋さんが住みついたのが起因で「鍛治平」という地名になった。

今岫長部落では、その鍛治屋さんの使った、フイゴ（フイゴとは金をとかす風を起す細長い箱）祭を昔から伝統的に毎年旧一一月八日に行っている。この祭は坪中で供養を宿まわりで祝ってやるのが長い習慣だと聞いています。と語る。

西山字鍛治平芳賀一さんの直系の先祖という。芳賀一さんにお聞きする。

吉田喜雄



公民館だより

文化財教室



水清く山女おどる天狗橋

七月三〇日、青少年地域活動事業の一環として小学生四、五、六年生を対象に文化財教室を開きました。

村内各小学校から三七名の参加があり、特に富田小学校からは一番多い一八名の参加がありました。

鈴木公民館長から文化財教室の目的が説明され、矢部教育長から文化財をとおしてこのうるわしいふるさとを、じっくり見つめてみようとあいさつがありました。

まず「ふるさとの文化財」スライドを鑑賞し、スクールバスで村内の県指定、村指定の文化財を見学し、また阿武隈南部区域広域農業開発事業によって開発された広大な乾草供給センター等も見学して、有意義な一日の行程を終りました。

青少年地域活動事業

第四回高校生のつどい

文化財学習等を通して、ふるさとを理解するとともに、高校生の友情と仲間づくりを目的に、高校生のつどい（八月三～四日・一泊二日）を、山村開発センターで開きました。

村内の高校生一四名が参加し、第一日は入所のつどいがあり、学習の最初は石田村長が講師で「うるわしいふるさとの山川」と題して講義がありました。つづいて文化財保護審議会委員の関根一好さんから「赤坂館」のお話、またスライドによる「むかしといまのおらが里」や軽スポーツ等で楽しみ食事はみんなで調理して会食し、食後は友情のつどいがありました。

第二日は六時起床、朝のつどい、九時から村のすがたと文化財の現地見学、初めて見る歴史の跡も珍らしく、有意義な企画でした。

研修を終えた参加者から、学校生活では体験できなかったことやふるさとの文化財などを知ることが出来て、大変勉強になりましたと好評でした。

参加者は次のとおりです。

佐藤　秀子、関根　順子、松崎　恵子、藤田　里香、河野　真由美
高坂　光子、芳賀　勝美、本郷　フミ子、生田目　浩美、山形　和江、松本　多加子、芳賀　貢、藤田　美佐枝、石井　恵子



石田村長の講義―うるわしいふるさとの山川

第４回社会学級を開催

高齢者の食生活と健康管理をテーマに、第四回の社会学級は、７月28日 学級生83名が出席し、開発センターで開かれました。

講座の内容は、高齢者の食生活と健康管理について、棚倉保健所川音予防課長さんのお話しがあり、その後に有賀華子先生を講師に民謡を楽しくおどっての健康づくりをしました。



自分の健康は自分で守ろう。食生活を合理的に



心豊かに楽しくおどろう。心もからだものびのびと

8月29日 文化財保護法施行記念の日

昭和二四年一月二六日の早暁、法隆寺金堂が焼失し、世界的国宝であった壁画が一瞬にして見るも無残な姿になってしまいましたが、これを契機として文化財の保護に対する施策の樹立が求められ、翌年八月二九日に「文化財保護法」が施行されました。

ところで、いかに法律で細かい規定がなされても、これだけでは文化財は守りきれるものではありません。この記念日を機会に国民全体が文化財に対する認識を新たにしなければなりません。

奥さんもご自分の年金を

国民年金任意加入のおすすめ

国民年金法では、サラリーマン（会社員、公務員等）の奥さんや、大学生、他の年金制度から年金を受けられる人でも、申し出により国民年金に加入することができます。

国民年金に加入すると、次のような特典があり大変有利です。是非加入をおすすめします。

◎ 保障が万全

国民年金に加入すると、老齢（通算）年金のほか、障害年金、母子年金、遺児年金、死亡一時金があるので、老後に至る途中の事故に対しても保障がされ、万全です。

◎ 年金額の物価スライド

全国消費者物価指数が五パーセントを超えて変動したときは、年金額を自動的に改定することになっているので、年金の価値が下がりません。

◎ 他の年金との通算

厚生年金や共済組合に加入していた期間と通算されます。

◎ 保険料と税金

国民年金の保険料を支払ったときは、その全額が所得から控除されます。

※ なお、加入できる年令は、二〇才から五九才までの日本に住所のある方です。

この年金に加入希望の方、または制度について詳しく知りたい方は、住民課福祉係に申し出てください。

児童扶養手当・特別児童扶養手当の額が引き上げられます

—57年9月分から—

児童扶養手当は、父と生計を共にしていない児童を養育する人（母または母以外の養育者）に支給される手当です。

また、特別児童扶養手当は、障害児を養育する人（父か母または父母以外の養育者）に支給される手当です。

この二つの手当の支給額が改定され、昭和57年9月分から増額されます。改定額は次のとおりです。

〔児童扶養手当〕

- 養育児童1人の場合　31,200円→32,700円
- 養育児童2人の場合　36,200円→37,700円

〔特別児童扶養手当〕

- 1級障害児童の場合　36,000円→37,700円
- 2級障害児童の場合　24,000円→25,100円

長崎集中豪雨に

災害救援金の受付

七月二三、二四日九州を襲った集中豪雨は長崎市に対し大きな被害をもたらしました。この惨禍に対し日本赤十字社県支部では救援金を受付けています。皆様方の温かいご支援をお願いします。

一、名称　長崎集中豪雨災害救援会
二、受付期間　昭和五七年八月一〇日～八月三一日まで
三、種別　金円のみ
四、取扱い場所　役場住民課窓口

救急車は正しく利用しよう

最近は救急車の要請が増え、出動要請が重なると緊急出動が出来なくなる場合があります。軽い病気などは消防署で病院の手配をしますから自家用車を使って下さい。救急車が出動するのは次の事故などの場合です。

一、火災、水害、地震等による災害の事故
二、交通事故、工事現場等の屋外で生じた事故
三、街頭、公民館、学校や運動競技中など、公衆の出入する場所で生じた事故
四、急病のうち、異常分娩、食中毒、気道閉鎖等で生命に危険が予測される病気

九月九日は「救急の日」です

救急の日とは、救急車の正しい利用方法の普及啓蒙を図り、各種団体に対し、救急法等知識の普及・研修等の開催など救急業務の正しい理解と認識を深めて、円滑な救急体制の確立と運用を行うための日です。

棚倉消防署鮫川分署



火事と救急車は１１９

ゴミの収集日

収集コース	種別	収集曜日	9月
江竜田～中野町～中山～田尻～彦次郎～反田～前沼～広畑～湯ノ田（可のみ）～役場～農協ストアー～保育所コース	可燃物	毎週 月・木曜日	2.6.9.13.16 20.27.30
	不燃物	隔週金曜日	10.24
新宿橋～農協倉庫～給食センター～道少田～大塩～宿ノ入コース	可燃物	毎週 火・木曜日	2.7.9.14.16 21.28.30
	不燃物	隔週金曜日	10.24
鮫中～真坂～寅卯平～茅～酒垂～滑石～折戸～水口～官沢コース	不燃物	隔週木曜日	9
越虫～青生野～葉貫～戸草～蔵の草～湯ノ田～中沢コース	不燃物	隔週水曜日	8.22
石井草～前田～鬼越～戸倉～菅田～沼野沢～岩野草～薄ケ久保コース	不燃物	月1回4週毎の金曜日	3
官代～椚久保～遠ケ竜～内ケ竜コース	不燃物	隔週金曜日	10.24

※ 休日は、可燃物・不燃物を出さないで下さい。
※ ゴミは、収集日の朝に出して下さい。

休日の在宅当番医

月日（曜）	当番医 棚倉町	当番医 塙町	当番医 矢祭町
9月5日(日)	菅原	根本	
12日(日)	薄葉	厚生病院	
15日(水)	大木		慈泉堂
19日(日)	藤巻	石川	
23日(木)	診療所		木村
26日(日)	和田	中島	